

日本共産党区議会議員



こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650-4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

「保育園が足りない」「仕事がない」「介護に安心を」

日本共産党

代表質問で追及 暮らしを区政の柱に

足立議会・第3回定例議会が9月24日から始まり、日本共産党は27日に代表質問(伊藤和彦議員)、28日に一般質問(針谷みきお議員)が行ないました。

過去最高の待機児なのに認可保育園を作らず今から減らす計画

私が行なった代表質問は、「子どもを保育園に預けて働きたい」という声が区議団が行ったアンケートにもよせられ、保育園に入所を申し込む家庭が増えています。保育園が足りなく



本会議で質問する伊藤和彦9月27日

て入れません。4月1日の待機児は436人(新定義)、認可保育園に希望しながら入れなかった子どもは816人。足立区は過去に一度も待機児がいなくなった時はありません。もともと保育園が足りないのです。

「保育破壊の「新システム」 足立区が先取り

それなのに足立区は、今後の待機児対策として認可保育園をつくる計画がありません。本気で待機児を解消する姿勢がないのではないかと代表質問で追及しました。

その上、「今後の公立保育園の民営化について」の中で認可保育園を指定管理化した上で、つぶして減らす方向が打ち出されています。さらに、民主党菅政権が打ち出している子ども子育てシステムは保育破壊だとの指摘がある中、足立区はそれを先取りして「こども園」を実施する



など質・内容の面で低下の恐れがあることを質しました。日本共産党は、区のごうした方向を改め、認可保育園の増設を中心に待機児の解消を図ること、重大な内容を含む「新システム」の実施にストップをかけ、保育の質、内容を充実する方向を求め質問しました。

区は「認可保育園の建設については、大規模開発が行なわれる地域に関して、民設民営による認可保育園の誘致を進める考えに変更はありません。また、民営化については保育サービスの充実を図る目的で進めております。なお、今後の保育需要の動向等によっては、保育園の統廃合等も検討せざるを得ない」と答弁しました。

認可保育園の増設を中心に 待機児の解消を図るべき

幼児にかかわる予算はOECD(経済協力開発機構・加盟国はアメリカ、イギリス、フランス、日本など約30カ国)の中でも日本は最下に属します。足立区でも子どもにかかわる基金を2つも創設するなどお金はあり

足立区の財政 指標は「健全」 お金はあります

今議会には、国が決めた財政指標に基づいた足立区の財政状況の報告が提出されましたが、「実質赤字比率」将来負担率など4つの指標すべてが「健全」ラインであることが明らかになりました。お金がないからできないわけではありません。

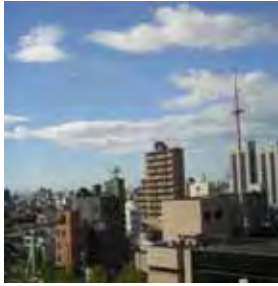
雇用の安定と拡大こそ 要は正規雇用 求職活動者用の保育所を

代表質問では、都は10月から保育サービス付きの公共職業訓練を実施するが、足立区で求職活動者の保育所を用意し支援を求めました。区は二時保育を含めた足立区の保育メニューの情報提供している中で、「求職者専用の保育所を設置する考えはない」と答弁しました。

円高と景気の停滞は深刻



雇用と中小企業に実効ある支援を



伊藤和彦議員が行なった代表質問は、円高と景気の停滞は深刻さを増し、その被害を最も受けるのは輸出大企業ではなく下請け中小企業であり、リストラに直面する労働者たちであることを指摘し、雇用と中小業者支援を求めました。

産業構造の変化などのおかげで地域内で生産されてものを消費し、住宅、職場、公共施設、商業も地域内で充足するよつな「地域循環型」経済の地産地消、「地域密着型公共事業」は、「これからの時代にふさわしいまちづくりと経済構造となるのではないか。区長はどう考えるかと質問。

区として中小企業に直接支援を約束

区は「区民の方々が、安心して消費できるものづくり、安心して暮らせるまちづくりが何よりも大切である」と思っています。商業、工業、農業等、それぞれの産業が連携し、収穫や製造、河口、販売まで環境に配慮した信頼される経済社会をつくることを望まれています。都市部においては限界がありますが地域循環型や地産地消が可能なものは、取り入れてまいりたいと答弁しました。

中小企業の事業発展に効果的な助成制度を検討

大田区で実施している町工場の経営に50万円を限度に機械装置、工具など購入する資金援助を直接支援するものを、足立でも支援する考えはないかと質問しました。区は緊急経済対策の一環として、中小企業の事業発展に効果的な助成制度を検討すると答弁しました。

若者たちの雇用の拡充、シルバー人材センターへの仕事を増やす対策を

総務省が調査では、失業1年以上が118万人。長期化がとまらないまま、大学生、高

議会議場・感想

伊藤議員の質問で、天空劇場や竹ノ塚公共駐車場のことを聞いて税金の使い方がおかしい。他の質問を聞いて、なるほどと思うことがたくさんありました。一人暮らしなので高齢者の質問は切実な思いで聞きました。(西保木間・Kさん)

初めて本会議場に行きましたが、明るくて大きいんですね。伊藤さんの質問ははつきりよく聞こえ分かりました。竹ノ塚駅前の「駅広」のことでヤジが飛んでいました。区が、福祉などの区役所の答弁は歯がゆいものばかり

りでした。(竹の塚・Fさん)

伊藤議員の取り上げていたことは、みんなやって欲しいことばかりでした。すばらしかったです。でも区の答弁はよく聞こえませんでした。(西保木間・Sさん)

去年と比べて生活は本当に大変です。暮らしを守るために区でできることはほとんどやらせて欲しいと思います。(花畑・Kさん)

保育などたくさんさんの質問を取り上げて、良くやっているとあります。孫が保育園に入れるのか心配です。高齢者の問題ではひとり暮らしなので見守りの支援は大事なことでしっかりとやってもらいたい。(西保木間・Tさん)

核廃絶に一步前進 区が平和の尊さ戦争の悲惨さ 取り組みを進めていくと約束

代表質問は、区長が平和市長会議に参加したことは、重要な前進であり、今後の核廃絶に向けた区長の決意を求め、「足立区原爆被害者の会」主催のものを区と

して事業を引き継ぎ、開催してはどうか、と質問。区は、「この展示会は、核兵器廃絶への意識啓発に資する大切な平和事業です。」現在、「会」の自主性を重

役割について検討する。今後、「区内の団体とともに、平和の尊さや戦争の悲惨さを伝える取り組みを進めてまいります」と答弁しました。「画期的なものです。

んじ、開催に必要な支援を行ってきたが今後も継続して開催できるよう、区の